

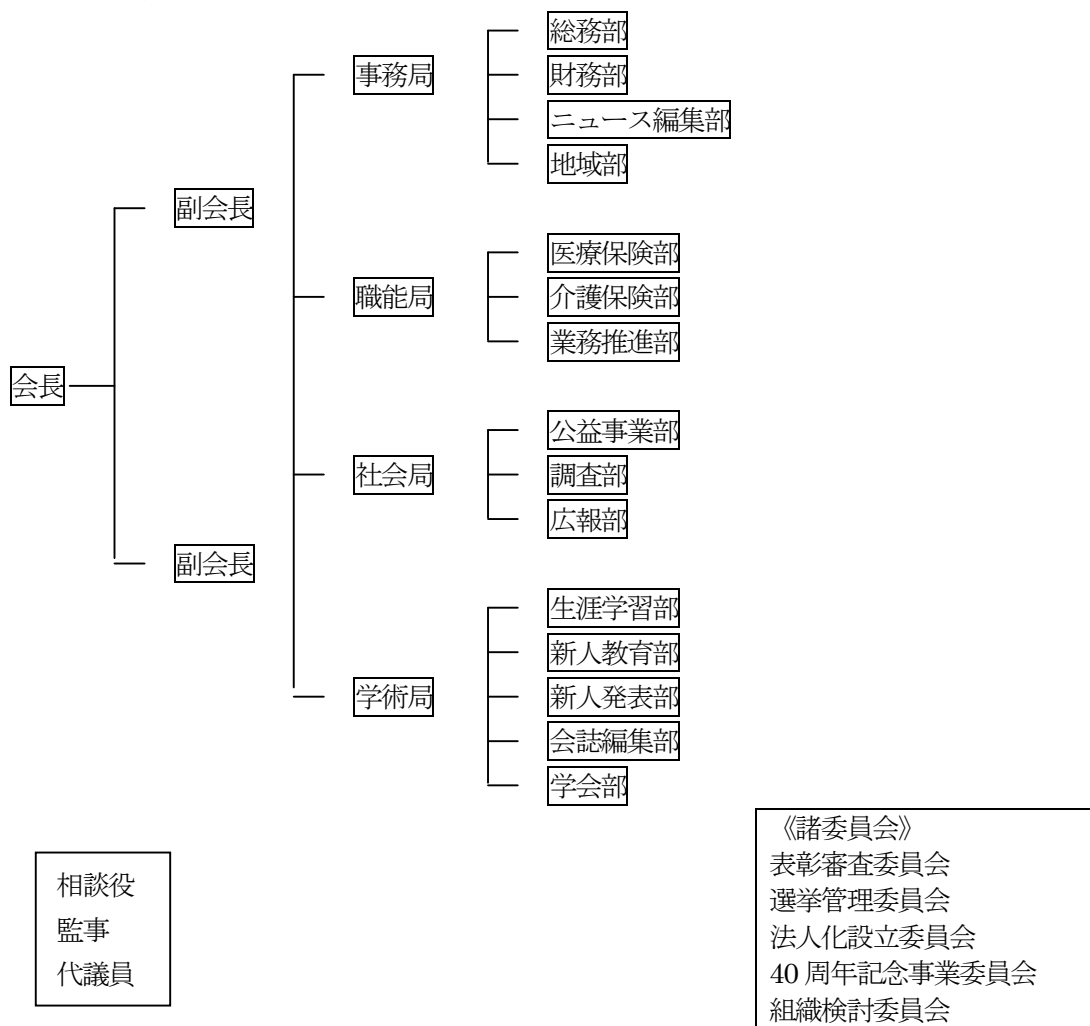
平成 20 年度事業計画案

今年度の事業計画を立てるにあたり、執行部の組織を変えました。近年、新入会の会員数も増え、1,000 人を超えてきました。協会では、10 万人体制の準備に入っているように、当士会も新しい組織作りの必要性がでてまいりました。ここ数年、法人化をめざして事業も行ってきたなかで、ふと気づけば当士会の活動は、内部の充実がやや疎かになっていた現実もあります。内部の活動をより活発化させ、そして新しい人材を求めて、本年度の活動に入ろうと考えました。特に社会局関連は大きな変化が求められているところではないでしょうか。1 年前より社会局の理事が考えてきましたが、まだまだ改良をしなくてはならない状況でもあります。今年度は各部の新しい事業の始まりの年度として事業計画を立てました。今後とも少しでも士会員の皆様のプラスになる活動をしていきますので、宜しくご検討下さい。

重点項目

1. 内部活動の充実
2. 40 周年記念事業準備
3. 法人化に向けて準備

< 京都府理学療法士会平成 20 年度組織図 >



I. 事務局事業計画

総務部

1. 理事会開催：理事会書記、議事録作成、広報原稿作成
2. 各資料の作成（総会資料、士会長会議資料 等）
3. 賛助会員の募集と手続き
4. 士会ニュース広告取り扱い
5. 企業年金の取り扱い
6. 本部・各士会・各部・関連会社等との連絡
7. 各部との連絡調整、士会員からの問合せへの対応
8. 公文書の発行
9. 送付文書類等の保管・管理
10. 士会誌・ニュース・I-Hot・各種案内等の発送作業
会員の単位取得状況の把握：F 単位未修得・履修単位修了者・リセット者通知 等
11. 新人プログラム修了証の発行
単位管理：研修会・講習会・学会等での新人プログラム検印・単位入力作業、新人教育プログラム
単位取得状況に関するデータベース作成
転入者の単位読替え
12. 会員管理：会員管理のデータベースの更新、タックシールの作成、会員及び新入会員者把握のため
の調査、会員異動に関する手続き、士会員名簿の作成（不明者の搜索）
E-Mail 連絡網の整備
13. 事務所新設準備

財務部

1. 京都府理学療法士財務に関する運営・管理
2. 日本理学療法士協会事務局との連絡
3. 会員証の発行推進：会費クレジット支払いの推進
4. 平成 20 年度会計決算報告作成
5. 平成 21 年度予算案作成

ニュース編集部

ニュース NOW を通じて、研修会の案内、理事会の報告などの情報を会員及び他関連機関事務局に伝達する。

1. ニュース NOW の発行：平成 20 年 5 月・8 月・11 月・平成 21 年 2 月（計 4 回）
2. 各局・部への依頼、通告
3. 記事の収集
4. 校正、編集
5. 部会開催

地域部

北部地域の研修活動と情報交換、親睦をはかる活動を柱にする。その実現のため、以下の活動を推進していく。

- ①定期的に研修会を開催する（■印は府支援対応研修会）
- ②親睦会の開催及び情報交換をブロックニュースなどで広報する

③中丹および丹後地域リハ支援センター活動に理解を深め、協力していく

④地域部に属し、ブロック活動の推進に寄与する

1. 研修会開催

第1回：6月頃、症例検討・テーマに沿った研修等

■第2回（北部ブロック主催）：9～10月頃、内容未定（講演もしくは技術研修会）

第3回：12月頃、新人を中心とした症例発表会、舞鶴地区

■第4回：H.21.1もしくは3月頃、実践研修会・テーマに沿った研修等

■第5回（学術局生涯学習部共催）：内容未定（講演もしくは技術研修会）開催地未定

■第6回（学術局新人教育部共催）：内容未定（講演もしくは技術研修会）開催地未定

2. 親睦会開催（新人歓迎会）：6月頃

II. 職能局事業計画

医療保険部

1. 診療報酬学習会・質問会を開催
2. ニュースを発行（会員の質問や改定に対する対策などを情報共有できるように）
3. 部会開催

介護保険部

1. 基本的には改定等はないので、介護分野の交流会を中心に2回行う
2. 一人職場などの条件で働く会員も多いと思われるので、悩み相談窓口やミニ勉強会（気軽に症例検討などを行う）を開く
3. 部会開催（7回）

業務推進部

1. 理学療法士の業務・身分・職域等に関する情報の収集と伝達
2. 福祉に関する情報の収集と伝達
今年度に関しては、どのような情報がどのような所で捉えられるのか？また、職能として必要な情報はどのようなものか検討していく。その中で必要であると考えられる情報は収集する。
3. 研修事業：理学療法技術研修以外で理学療法業務に役立つ情報や業務管理者の育成を目的とした研修会の開催
今年度は「自立支援法について」または「管理者セミナー」

III. 社会局事業計画

公益事業部

1. 公開講座の実施（時期・講師・内容等 未定）
2. 医療推進協議会主催イベントへの協力
3. 研修会開催（仮題：介助教室）
4. 部会開催（6～7回）

調査部

1. 士会員へのアンケート調査
2. 士会未入会者へのアンケート調査

3. 日本理学療法士協会からの調査依頼に対して協力

広報部

1. I・Hot 発行 (No. 28~32) と編集会議 4 回
 - ①医療・介護保険等の動向に関する情報提供
 - ②福祉関連等の情報提供
 - ③京都府下における医療・介護・福祉情報提供
 - ④新刊紹介
2. リーフレットの作成 (府民を対象に京都府理学療法士会の宣伝を図るため)
3. ホームページの管理・運営 (京都府理学療法士会からの情報発信および相互情報交換等)
 - ①今年度は会員と一般との窓口を分ける事の検討 (新規)
 - ②会長ブログの作成検討 (新規)
 - ③事業内容のアップを速やかに実施し、終了したものから順に削除していく
 - ④掲示板の活用を図る
 - ⑤求人の掲載の検討 (一般、会員用共に) (新規)
 - ⑥診療報酬改定・介護保険改定に関する情報交換の場を掲示板に設ける (会員用) (新規)
 - ⑦監査情報に関する意見交換の掲示板を設ける (会員用) (新規)
 - ⑧ホームページの表紙デザインの変更
4. その他
在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
第 14 回全国の集い in 京都 2008 (9 月 14・15 日) への協力

IV. 学術局事業計画

生涯学習部

卒後 4 年以上 (新人教育プログラム終了者) を対象に研修会を開催する。今年度より、従来行っていた研修分野に保健福祉分野加等を加えて行う。

1. 研修会の開催 (年間 6 回、北部開催 1 回含)
2. 技術研修会の開催
3. 研修会開催に伴う部会開催 (年間 6 回)
4. 研修内容に関しては、2~4 年間で計画し内容を検討するものとする (初年度に計画を立案)

新人教育部

卒後 3 年目までを対象に企画し基礎研修会と開催する。また、研修内容については協会新人教育プログラムに即したものを基本とする。

1. 新人研修会 1 回、新人基礎講座 4 回 (北部開催 1 回含) の開催
2. SV 研修会を隔年開催から毎年開催とする
3. 研修会開催に伴う部会開催 (年間 6 回)
4. 20 年度より新人を対象とした基礎技術講習会を開催する。開催内容に関しては 2~4 年間でプランをたて受講者もしっかりと管理する。その内容で見直しを入れながら繰り返し行っていく。
5. 20 年度より新人発表部 (仮名) を独立新設し、新人症例発表会 (年間 1~2 回開催) の企画・運営、発表方式や研究方法に関する研修会、F 単位の管理 (未発表者の把握と発表への啓蒙) 等、発表に関する分野を担当する。

新人発表部

1. 前年度まで行っていた新人症例発表を主に独立した部門が担当する
2. 新人症例発表会の開催（年間1～2回の開催を発表件数にあわせ検討する）
3. 新人症例発表者を主な対象に、症例発表会・研究方法論等の研修会開催
4. 新人教育プログラムF単位の管理（未修得者への発表および単位習得へのアプローチ）

会誌編集部

1. 理学療法京都 No. 38号編集・印刷、1550部
2. 別刷（特別寄稿分等）の編集・印刷、450部
3. 編集会議、作業部会開催（原稿依頼・校正作業・著者校正発送など）随時

学会部

第19回京都府理学療法士学会開催 学会長 黒木裕士
準備委員長 玉木 彰

平成20年12月21日（日）京都大学 時計台ホール

その他

現職者講習会

「呼吸理学療法の理論と実際」平成20年9月13～15日、京都大学医学部保健学科

「下肢の運動学と理学療法A」平成20年7月19～21日、京都大学医学部保健学科

「下肢の運動学と理学療法B」平成21年1月10～12日、京都大学医学部保健学科

V. 各種委員会事業計画

表彰審査委員会

1. 第18回京都府理学療法士学会奨励賞候補者の選定
2. 各表彰候補者の選定・推薦

選挙管理委員会

1. 法人化後の体制検討
2. 委員会開催

法人化設立委員会

1. 祝賀会の企画運営
2. 法人化後の執行体制について検討する
3. その他

40周年記念事業委員会

1. 記念事業計画・準備
2. その他

組織検討委員会

1. 士会組織の検討
2. その他